

在外駐在ウクライナ大使会議における
林大臣ビデオ・メッセージ（令和4年12月23日（金））

「ウクライナ外交官の日」をお祝いするとともに、在外駐在ウクライナ大使会議の開催に際し、日本政府を代表してご挨拶できることを嬉しく思います。

ロシアによるウクライナ侵略は、国際秩序の根幹を揺るがす暴挙です。

日本は、ウクライナの主権及び領土一体性を一貫して支持し、力による一方的な現状変更の試みには断じて反対します。

日本は、強力な対露制裁を講じるとともに、人道・財政支援、装備品等の提供等のウクライナ支援を実施してきました。

また、ウクライナから第三国に避難された方々を日本に受入れ、安心した生活を送れるように支援を行っています。

今後、ウクライナの人々が厳しい冬を乗り切れるよう、11月には、約257万ドルの緊急無償資金協力として発電機及びソーラー・ランタンの供与を決定し、既にウクライナの人々に届け始めています。

これに加え、今月、日本政府は、補正予算において約5億ドルの予算を措置し、更なる越冬支援を含むウクライナ及び周辺国向けの追加的な支援を実施していく考えです。

ロシアによるウクライナ侵略が長期化する中、国際社会が結束して対応することが重要であり、G7の役割がかつてなく高まっています。

先般のG7首脳テレビ会議で、岸田総理は、来年のG7広島サミットでは、力による一方的な現状変更や核による脅しを断固として拒否するといったG7の強い意思を歴史に残る重みをもって示していきたい旨述べました。

日本は、来年の G7 議長国として、ウクライナにおける一刻も早い平和の回復及び復興の実現に向け、国際社会と緊密に連携しつつ、最大限の努力、積極的な貢献を続けていきます。

極めて困難な状況下でウクライナ国民のために努力されているクレーバ外相に賛辞を送るとともに、コルスンスキー駐日大使の積極的な役割に敬意を表します。来年も引き続き協力できることを楽しみにしています。

日本は、国際社会と共に、現下の諸課題に取り組むウクライナを引き続き支援していきます。日本は常にウクライナと共にあります。ご清聴有り難うございました。

（了）